

平成28年7月29日

会員 各位

公益社団法人日本産婦人科医会
母子保健部会
担当常務理事 関沢 明彦

防腐剤を含まないインフルエンザワクチンの製造中止について
(母子保健部会からのご連絡)

今年度の季節性インフルエンザワクチンについては、化学及血清療法研究所が平成28年熊本地震で被災したこと等の影響から、国内での必要な供給本数を確保するために、防腐剤（チメロサル）を含まない製剤の供給が行われない見込みです。今年度も、妊婦へのインフルエンザワクチンの接種は従来通り推奨されるわけですが、なるべく早い時期に接種を受けるように妊婦にご指導ください。また、防腐剤を含むワクチンの接種を行っても胎児に影響のないことは産婦人科診療ガイドラインに記載されていますので、防腐剤を含むワクチンを接種して下さい。

なお、産婦人科診療ガイドライン産科編2014では、チメロサルを含有している製剤の濃度はごく少量であり、胎児への影響はなく、「チメロサル含有ワクチンを妊婦に投与しても差し支えない」と記載されています。